



和歌山大学

南大阪地域連携室

岸和田サテライト

2026年度 後期 学部開放授業・大学院授業 社会人受講生 募集!!

募集期限

大学院
科目

2026

8.25 (火) 必着

学部開放
授業

2026

9.8 (火) 17:00 まで

| 大学院科目 |

- ☑ 監査論
- ☑ 行政法

| 学部開放授業 開講科目 |

- ☑ 泉南の自然 A
- ☑ 地域祭礼学(泉州)
- ☑ 地域防災リーダー論



4つの特徴

社会人のためのキャンパス岸和田サテライト /
和歌山大学の学びを岸和田で

① 交通アクセスが良好

- 南海岸和田駅から徒歩15分
 - 教室のある南海浪切ホール(地下)に無料駐車場を完備
 - (阪神高速湾岸線)岸和田南インターから約1分
- * 授業の一部を、近隣の施設で実施することがあります。

② 選べる学習制度

- 18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも受講可能な「学部開放授業受講制度」(注1)
- 経済学研究科の授業を受講できる「大学院科目等履修制度」(注2)

③ 働きながらスキルアップ

- 原則として土・日曜日に開講
- 経済社会の変化に対応した専門的講義を受講できる
- 多様な受講生(社会人、和歌山大学の学生)と一緒に学べる

④ 割安な学費で、1科目から受講できる

- 学部開放授業の聴講料 11,000円(1科目)
- 大学院科目等履修の検定料 5,000円、入学科 10,000円、授業料 14,400円(1単位)

(注1) 試験等による成績評価や単位認定はありません。

(注2) 入学資格は大学卒業者又は同等以上の学力があると認められる方が対象です。大学院の出願にあたっては、本学(学務課学部等支援室経済学部係)へのお問合わせが必要です。



2026年度 後期開講科目のご紹介

※令和8年度後期の授業は、

学部開放授業



「泉南の自然A」

講師 古賀 庸憲 教授(教育学部)、此松 昌彦 教授(教育学部)

ゲストスピーカー 高須 英樹 和歌山大学名誉教授

岸和田を含む泉南地域には、比較的良好な自然環境が残されており、一部では自然再生に向けた取り組みも進められています。本講座では、泉南地域の地形・地質、植生、磯の生物について総合的に学びながら、この地域に生息する多様な生き物と、それらを支える自然環境のしくみへの理解を深めます。各回ではフィールド観察を行い、学外での実践的な体験を通して自然への理解を深めるとともに、生物多様性やジオの多様性について考え、豊かな自然環境を次世代へどのように継承していくかを探究します。

開講日時

第1回 10月10日(土) 11:00～16:00

第2回 10月24日(土) 10:00～15:00

第3回 11月7日(土) 10:00～15:00

●全回フィールドワークとなります。

「地域祭礼学(泉州)」

講師 吉村 旭輝 准教授(紀州経済史文化史研究所)

泉州では、様々な地域で祭りや祭礼が行われ、岸和田や貝塚といった旧城下町や寺内町では、だんじりや布団太鼓など、屋台が登場する都市祭礼が今も盛んに行われています。また農漁村では、中世から続く地域コミュニティを主体とした神輿渡御の祭りが受け継がれ、さらにだんじりや布団太鼓、やぐらが加わることで泉州ならではの多様な祭礼文化が発展してきました。本講座では各地の祭りや祭礼を見学し、泉州の都市祭礼や農漁村祭祀の歴史を学ぶとともに、過疎化や少子高齢化などの課題にも目を向け、祭礼の実態や地域との結びつき、その継承と地域社会の未来について探究します。

開講日時

第1回 10月11日(日) 10:00～15:00

第2回 11月1日(日) 13:00～17:00

第3回 11月8日(日) 13:00～17:00

●第1回は、秋祭り見学のフィールドワークとなります。

大学院科目



「監査論」

講師 藤原 靖也 准教授(経済学部)

監査は、経営者が作成した財務諸表や内部統制報告書の適正性について意見を表明する重要な役割を担っています。しかし、監査を受けていても会計不正事件は後を絶たず、監査制度のあり方が問われ続けています。本講義では、会計不正が生じる背景や監査制度の課題を踏まえ、適正性の意味、監査人に求められる責務、監査の実施・報告のあり方について学びます。これらを通して監査論への理解を深め、修士課程レベルの専門的知識を修得するとともに、監査が抱える課題や今後のあるべき姿について考察し、議論する力を養います。

開講日時

第1回 10月24日(土) 第2回 11月21日(土)

第3回 12月26日(土)

●いずれも(土)の13:00～17:00

「行政法」

講師 森口 佳樹 教授(経済学部)

統一法典が存在しないとされてきた行政法においても、分野別には統一的な法体系が整備され、近年その見直しや改正が進められています。本講義では、行政救済法の中心となる行政不服審査法および行政事件訴訟法を取り上げ、従来指摘されてきた問題点、それに対応する法改正、さらにはなお残る課題について、判例の蓄積を手がかりに検討します。これらの学修を通じて行政法総論および行政作用法の主要論点についても理解を深め、行政救済法の主要論点を正確に理解したうえで、その内容を自分の言葉で説明できる力を身につけることを目指します。

開講日時

第1回 10月17日(土) 第2回 10月31日(土)

第3回 11月21日(土) 第4回 11月28日(土)

●いずれも(土)の9:00～12:00



学部開放授業

「地域防災リーダー論」

講師 此松 昌彦 教授（教育学部）

ゲストスピーカー 金原 美穂 氏

大阪府・和歌山県やその周辺の太平洋側では、南海トラフ地震による地震・津波や台風などの風水害による被害が想定されており、私たちが身を守るためには自助・共助の力を高めることが重要です。本講義では、災害に備える地域防災リーダーに必要な資質を養うことを目的に、災害・防災の基礎知識に加え、地域活動の進め方や注意点、防災訓練やワークショップの運営方法について学びます。また、地域の危険性について自ら考えて意見を述べる力を養い、将来、地域や職場で自助・共助の重要性を伝え、実践できる力を身につけることを目指します。

開講日時

第1回 令和9年1月9日（土） 第2回 令和9年1月23日（土）

第3回 令和9年2月6日（土）

- いずれも 13:00～17:00
- 第2回は堺市総合防災センターで実施します。



2025年度後期学部開放授業「地域防災入門」講義風景より



2026年度前期学部開放授業「地域づくり実践論」講義風景より

message

南大阪地域連携室
室長メッセージ

足立 基浩 教授



和歌山大学岸和田サテライトは、地域や社会の課題に関心のある方、スキルアップを目指す方向けに、専門性と地域性を備えた学部教養レベルの科目、大学院授業科目を開講しています。「学び」を志す多世代の皆さんが集い、語らい、知を深め合っています。この岸和田で、大学の学びを体験してみませんか？

受講生の声

2026年度前期開講 アンケートから

大変興味深いテーマについて丁寧に教えていただけるので、毎回楽しみにさせてもらっています。
非常に実践的で面白く、ためになりました。

[地域づくり実践論]



自分が知っているAIに関する知識をさらに拡大するような情報を得る事ができて、とても学びのある機会でした！楽しかったです！とても発見が多い授業でした。ありがとうございました。

[地域課題を解く情報技術]



とても意義のある授業だと感じました。現在では多くの分野においてデータ分析は欠かせないものになっていて、この授業で学ぶ技術や知識は、仕事においても活用できる非常に実践的な内容だと感じました。

[データを用いた実証分析A]



受講するには

後期募集について

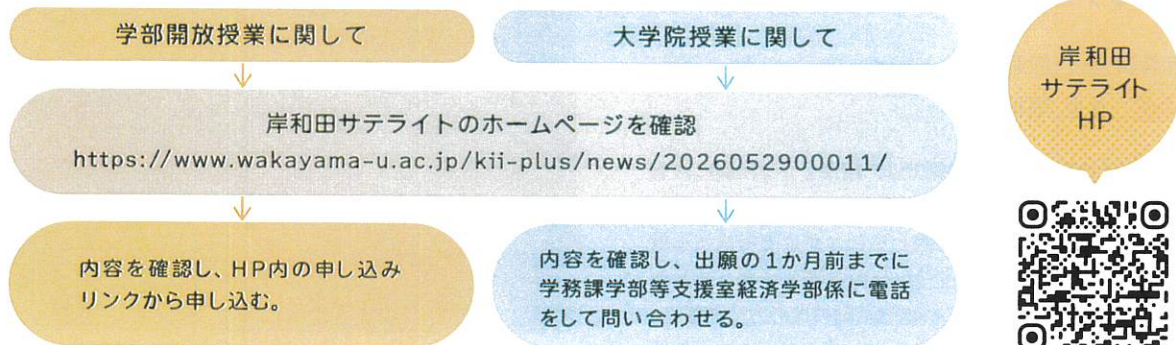
■学部開放授業の申請期間(オンラインフォームによるご登録)

2026 8/20 (木) 10:00 — 9/8 (火) 17:00

■大学院科目の出願期間(郵送)

2026 8/19 (水) — 8/25 (火) 必着

申込サイトへのアクセス方法



お問い合わせ先

■学部開放授業に関して

和歌山大学 南大阪地域連携室 岸和田サテライト
〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2F
【TEL・FAX】072-433-0875
kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

■大学院授業に関して

和歌山大学 学務課 学部等支援室 経済学部係
【TEL】073-457-7805



その他の講座のご紹介 / ワダイノLIVE

和歌山大学南大阪地域連携室岸和田サテライトでは、一般の方を対象に公開講座を開催しています。和歌山大学や南大阪地域の大学教員が、専門分野や旬のトピッ



クス、最新の研究をわかりやすく紹介し、生涯学習の機会を提供するとともに、多世代が学び合い、交流を深める場となっています。どなたでもご参加いただけます。

申込み 必要

参加費 無料

会場 南海浪切ホール(多目的ホール) 他

今後の開催方法・会場および開催日については、岸和田サテライトホームページをご覧ください。

和歌山大学南大阪地域連携室 / 岸和田サテライトとは

和歌山大学と岸和田市の地域連携推進協定にもとづき、和歌山大学が2006年4月に南海浪切ホールに開設しました。

岸和田サテライトでは、大学の授業、講座・セミナーの開催、地域課題と大学の連携プロデュースを通じ、世代を超えた学びと地域づくりの支援を行っています。大学学部開放授業、大学院科目等履修制度を活用し、2006年度の授業開講から、これまでに延べ約2,200名の社会人の方が学んでこられました。また、大学学部開放授業・大学院での「学び」は、これまでの社会人受講生の同窓会(友の会)^{注3}の活動や、地域での活動に活かされています。

注3:「岸和田サテライト友の会」は、2006年度の受講者を中心として2007年12月に発足した同窓会組織です。会員相互の親睦・交流を図り、岸和田サテライトの発展、岸和田市ならびに周辺地域の活性化に寄与することを目的としています。